

## 特集

# 羽田空港周辺 工事情報



### 羽田空港第2ターミナル工事渋滞

現在～2028年6月30日

JR 羽田空港アクセス線  
工事着工中

羽田空港新駅（仮称）



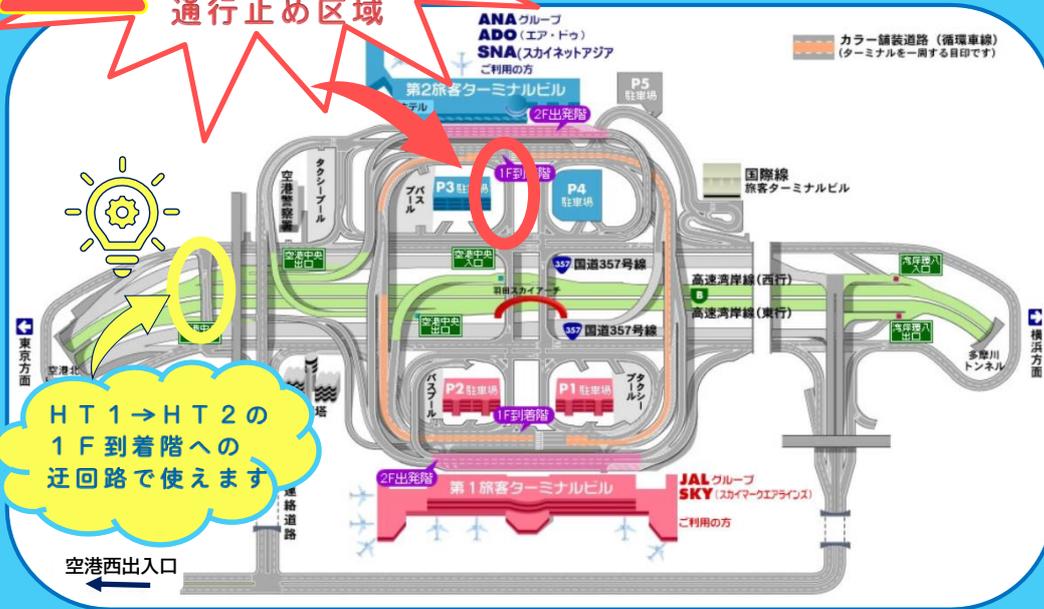
❖ HT2 北側フライト拡張（3月19日～）

新設搭乗口：50A・50B・51A・51B・52

❖ HT2 国際線ターミナル（3月30日～）

- ・国内線→国際線専用：66～70搭乗口
- ・国際線が**4便増**：30便→34便
- ・第2ターミナルの利用が増加する見込み
- ・送迎の際は、必ず第2T・第3Tか確認しましょう

⚠ P3駐車場南側通り  
抜け道路  
通行止め区域



### 羽田空港送迎時には

送迎時に駐車場を利用しなくても周辺混雑の確認のため駐車場混雑情報を見ていただくことをおすすめします。

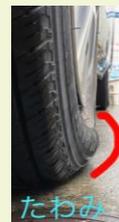


### 始業・終業時のタイヤチェックのポイント

タイヤの空気圧が適当かの見極めは「**たわみ具合**」です。必ず、始業・終業時に確認をしましょう。

#### 【確認方法】

- たわみ（潰れ具合）をみる
- 手で叩いてみる
- 足で踏む
- エアゲージで測定 ※参照



たわみ



※参考

エアゲージ ペンシルタイプ

### ～ 真実の瞬間 ～ 「真実の瞬間」とは、スペインの闘牛に由来する言葉。

「闘牛士が闘牛のとどめを刺す瞬間」が、生死を分けるほど重要であるという意味です。この表現をビジネス用語として初めて使用したのが、航空業界で最年少のCEOとして36歳で就任したヤン・カールソンという人物です。1981年当時、経営危機にあったスカンジナビア航空をわずか1年で黒字化したことで知られています。彼の提唱する「真実の瞬間」とは、航空機を利用するお客様と従業員が接するごく短い時間の中で、評価が決定されるという考え方です。つまり、搭乗時の挨拶や困っている人への臨機応変な対応によって、顧客満足度を大きく左右するという事です。私たちの職務においても、お客様へのドアサービスや会話といった短いやり取りが、印象を左右する重要な場面となります。お客様に「危険・不安・不快」を感じさせないためにも「真実の瞬間」を大切にしていきたいと思います。

